

日本介護福祉・健康づくり学会 第5回大会開催にあたって

日本介護福祉・健康づくり学会第5回大会

大会長 朝日大学保健医療学部

健康スポーツ科学科 学科長 教授 竹島伸生

謹啓

盛夏の候、ますますご健勝のことと、お慶び申し上げます。

さてこのたび、平成29年11月11日（土）から12日（日）に朝日大学におきまして、日本介護福祉・健康づくり学会 第5回大会を朝日大学との共催にて開催する運びとなりましたのでご案内申し上げます。

本学会は、一般社団法人日本体育学会の専門分科会である「介護福祉・健康づくり専門領域」が前身であり、平成25年に本学会の大会長である小林寛道先生（東京大学名誉教授）を中心に新しく立ち上げられたものでございます。「日本介護福祉・健康づくり学会」では、介護福祉・健康づくりに関する学術的・科学的研究の発展を図るとともに、実際の、体験的、応用的な知見（実際知・体験知・応用知）を大切にして、介護福祉、健康づくりに関する学際的な知識交流の場とするとともに、高齢化社会に資する活動を行うことを目的としております。

今年のテーマは、「高齢者の生きがいと健康づくりの推進を目指して」としており、特別講演、シンポジウム、一般発表、ポスター発表に加えてワークショップを複数計画し、「高齢者の生きがいと健康づくり」の具体的方法を紹介する場を設定しました。国内で普及、活動されている運動方法などを例示し、参加者と共に議論できるものと思います。

また今年度、朝日大学では保健医療学部健康スポーツ科学科の新設が認可され、本大会は日本介護福祉・健康づくり学会と共催でおこなうこととなっております。一般市民を対象に公開講座（11月11日：福永哲夫-老後に備えて貯筋と貯金：東京大学名誉教授，鹿屋体育大学名誉教授，朝日大学客員教授と田中敏夫-阿波踊りと健康づくり：徳島大学教授）も企画し、学会構成員のみならず多くの方が参加できるセッションもございます。

今年は200～250名程度の参加者が見込まれ、研究者のみならず、現場の保健師や運動指導者，リハビリテーション，介護福祉の指導者なども交え、熱心かつ活発な学会になるものと確信しております。ぜひ多くの方にご参加いただきますようよろしくお願い申し上げます。